

なとり市議会だより

2020.8.1 No.171 令和2年6月定例会の内容をわかりやすくお伝えします。



CONTENTS

- 議員が聞いたこんなこと…………… P2
- 地域応援プレミアム商品券が販売されます… P10
- 新型コロナウイルス感染症に関する
議会の取組…………… P11
- N-WATCH(エヌ・ウォッチ)…………… P12

議員が聞いた

こんなこと

一般質問

一般質問とは

皆さんの生活にかかわる大切な内容について、市議会議員が市に対して質問を行います。

6月定例会では、14人の議員から24項目の質問がありました。

一般質問を含めた本会議の内容は、録画でも配信しています。市ホームページの「議会中継」からご覧ください。



防災

災害時における避難所での
感染症対策に取り組むべき



菅原 和子

Q 感染症対策を踏まえた避難所ごとのマニュアル作成や避難所運営の訓練を実施すべき。

A 地域防災計画における災害種別の避難所については、名取市防災会議において見直しを図ったところである。マニュアル作成については、県から示される感染症流行時の避難所運営についてのガイドラインとの整合を図り進めていく。

避難所運営の訓練については、各避難所配置職員の研修を行いながら、実施できるよう検討していく。

Q 感染症対策に万全を期すため、可能な限り多くの避難所の開設が必要である。本市でもホテル等の活用を検討すべき。

A 現在、市内のホテル事業者と協議中であるが、前向きな回答を頂いている。

Q マスクや消毒液、非接触型体温計等感染症対策を踏まえた備蓄品の整備状況を

伺う。

A マスク9万枚、消毒液150本、フェースシールド800枚、非接触型体温計18本を備蓄している。

今後、感染症との複合災害を踏まえた数量確保に向け、備蓄に努めていく。

Q 感染症蔓延中の避難について住民向け啓発チラシの作成に取り組むべき。

A 市民の皆様への啓発手段として、広報なとりへの掲載やホームページ、なとりじ等と併せ、今後チラシ等でも周知していく。

質問した内容

- 1 災害時における避難所での感染症対策
- 2 視覚障がい者の生活支援



福祉

網膜色素変性症の方への支援に取り組むべき



熊谷 克彦

Q 網膜色素変性症は、網膜の細胞が変性し、病気の初期には、暗いところで物が見えにくくなったり、視野が狭くなったり、病状が進行すると失明することもある遺伝性・進行性の病気である。現在、治療法はなく、国の難病に指定されている。このような病気をお持ちの方も住みやすい地域社会をつくる必要がある。どのような実態を把握しているか。

A 本市において身体障害者手帳を所持している人のうち、手帳に網膜色素変性症と記載されている人は33人である。

Q 遺伝性の病気なので、先天的に暗いところで物が見えにくい方は、病気だと気づかないことがある。早期に発見できるよう、症状について市民へ周知を図るべき。

A 薄暗いところで、物が見えにくくなったりした場合、早期に受診するよう、周

知啓発については、その内容も含め検討していく。

Q このような病気をお持ちの方が、少しでも長く安全で安心した日常生活を送ることができるよう、病気の進行段階に合わせて必要となる暗所視支援眼鏡やタブレット等、各種日常生活用具について支援すべき。

A 対象となる方のニーズを踏まえ必要な対象品目の拡充を図ってきた。他市の事例やその効果について、今後調査研究していく。

質問した内容
1 網膜色素変性症の方への支援

地域

区長業務に支障を来さないような対応を



小野寺 美穂

Q 新区長制度に対し寄せられている要望等は。

A 住民リストの提供や広報等配布業務の復活、謝金の積算方法変更等の声が寄せられている。必要に応じて柔軟に対応したい。

Q 住民異動の把握業務が廃止され、転入・転出や出生・死亡等が把握し難くなり、地域巡回業務等に支障を来している。どう捉えているか。

A 担当行政区内を巡回し、公共物や公共施設等に異常を発見した場合に所管課に報告すること、巡回時は住民に声がけを行うなど、コミュニケーションを図り、可能な範囲で住民の声を収集することについて、個人情報が必要としないと捉えている。個別具体的内容については、区長からよく話を聞いて対応したい。

Q 私人である区長と個別に覚書を交わすなどの対策をし、改善を図るべき。

A 区長に個人情報を提供することは、利用目的をできるだけ限定すべきとする個人情報保護に関する法律等に抵触するおそれがあるため、法令遵守の観点から難しい。一方で個人情報保護への過度の対応は、地域のつながりを弱くし、地域の活動や災害時の対応に支障を来すことも想定される。利用目的を明確にし、適正な管理の下で、個人情報の取得や利用を行うことが重要と考えている。

質問した内容
1 新区長制度
2 ごみの最終処分場

オンライン学習環境整備の
スケジュールは



吉田 良

市民で支える新たな子ども
食堂の仕組みをつくるべき



大友 康信

Q 新型コロナウイルス感染症の影響で学校が長期間臨時休業となった。流行は今後も起こり得る。平日の日中に自宅でオンライン授業を受けられる児童生徒数は。

A 現在、各家庭にアンケートを配付し、実態を把握しているところである。

Q 国の令和2年度補正予算で、全小中学生に配付するコンピューターの整備費用が措置された。調達の進め方とそのスケジュールは。

A 国の方針を踏まえ、全体計画の策定、機種選定・仕様設計、予算化等の検討を進めていく。

Q 国が推奨する都道府県単位の共同調達は、ほとんどメリットがない。早期に単独調達に決定すべき。

A 本市においては単独調達を検討している。

Q いつまでにオンライン授業を実施できる環境を整備したいと考えるのか。

A 端末の整備や事前準備は

年度内に進めるが、すぐに授業を実施するのは難しい。

Q オンライン授業の実施が早期に可能となるよう、授業の進め方や情報管理などについての指針と、児童生徒が端末を利用する際のルールを策定すべき。

A 学習用端末が導入されている学校の実践事例を参考に、研修会等を実施する予定である。情報管理マニュアルや児童生徒向けのルール等の整備、オンライン授業の実施方法等の検討も進めていきたい。

質問した内容

- 1 オンライン学習環境の整備
- 2 住民の幸福実感

Q 子ども食堂の活動と必要性をどう捉えているのか。

A 地域の子供たちや保護者などを対象に無料または低価格で食事を提供する活動で、子供の孤食や貧困対策と地域での居場所、交流拠点としての役割も担っている。市内では3か所の子ども食堂が毎月1回活動していると同っている。

Q 地方創生臨時交付金を活用して、市内の飲食店や子ども食堂で利用できる食事の回数券を新たにつくり、18歳までの子供全員に配布するとともに、ひとり親世帯や所得が減少した世帯などに上乗せ配布してどうか。

A 国では子育て世帯への臨時特別給付金を、また市独自では就学援助費受給者認定給付金を支給している。さらに国が低所得のひとり親世帯への臨時特別給付金として、児童扶養手当受給世帯への加算事業も予定し

ており、提案のあった回数券の配布は考えていない。

Q ふるさと寄附金の使い道に、回数券配布事業や子ども食堂の運営補助に充てる項目を設け、市民全体で支える新たな子ども食堂の仕組みを構築すべき。

A 「地域福祉の充実」という既存項目があり、子ども食堂の運営補助に充てることは可能である。運営団体と意見交換しながら、新しい仕組みの構築について調査研究したい。

質問した内容

- 1 市民全体で支える新たな子ども食堂の仕組みづくり

感染症
対策

「新しい生活様式」の下での 学習環境の構築は



齋 浩美

Q 児童生徒、教員も含め、負担のないような学校運営をすべき。

A 過密な時程とならないよう、児童生徒に配慮する。

Q 長期の休業で夏休みが短縮になった。授業時数の確保のため、土曜日の授業は考えているのか。

A 教員の振替休暇が必要になるため、現状では難しいと考えている。

Q 3密を解消するために、少人数学級を拡大すべき。

A 学校では教室での3密を解消するため、換気を小さくめに行う、机の距離を可能な限り離す、対面にならないように机を配置する等の工夫をしている。

御指摘のとおり、学級の人数を減らし、少人数で指導するのは、3密を解消する有効な手段である。

しかし、少人数学級を実現するには、教室の確保や担任の人的な配置など、市単独で取り組むのは難しい。

機会を捉え、国や県等に要望する。

- 質問した内容
- 1 館腰駅へのエレベーター設置の進捗
 - 2 政府支給のマスクの回収と再利用の取組
 - 3 市立学校の再開と「新しい生活様式」での学習環境
 - 4 新型コロナウイルス感染拡大の影響から学生生活を守る取組
 - 5 市内飲食業の支援と外出しづらい高齢者や障がい者への支援

感染症
対策

地域経済を守るため、 支援策に取り組むべき



荒川 洋平

Q 新型コロナウイルス感染症の影響により、日本経済は急速に悪化しており、極めて厳しい状況にある。この危機に立ち向かうため政府は既に緊急経済対策を打ち出し、減税や給付等を行っている。国や県からの財源と、本市の財源を最大限活用し、地域経済を守り、回復させていくことが重要と考える。現在の感染拡大防止協力金、中小企業等経営支援金の申請数を伺う。

A 6月4日現在、協力金は193件、経営支援金は102件である。

Q 協力金は1000事業者、経営支援金は1500事業者を見込んで予算計上しているが、申請者が見込みに達することは難しいと考える。余った財源はどうするのか。

A 対象者の拡大等も検討していきたい。

Q 業種に即した支援策に取り組んでいくべき。

A 業種ごと個別の支援等に取り組むことは難しいが、実行可能な支援策について、検討していきたい。

質問した内容
1 新型コロナウイルス感染症対策



人権

DV被害者が相談しやすい環境をつくるべき



波 笹森

Q 男女共同参画に関する市民意識調査で、DVや人権についての調査結果を、どう捉えているのか。

A 平成22年と平成30年の調査結果を比較し大きな変化はないが、なお一定の割合で存在していると捉えている。また、相談に結びつかない実態も存在しているのではないかと考えている。

Q DV被害は、時として命に関わる問題に発展する。被害者が一人で悩まず、相談しやすい環境をつくるべき。

A DV被害に関する相談の多くは、離婚や住居問題、経済問題や子供の養育問題など多岐にわたるため、複数の関係機関と連携した支援を行っている。個人や家族の秘密は厳守しており、安心して利用してもらいたい。命の危険を感じたときは、ためらわずに110番通報していただきたい。

Q 広報なとりへの掲載等に

より、相談窓口の周知を図り、被害者の救済に努めるべき。

A 窓口は、広報なとりの生活情報コーナーに掲載している。市ホームページには、各種相談の中にDV相談窓口があり、相談先や電話番号、受付時間を掲載している。公共施設へのリーフレットの配置などを工夫し、相談窓口の案内に努め、被害者の救済につなげていきたい。メールでの相談体制も検討したい。

質問した内容
1 本市におけるDV被害対策
2 生活保護受給者の医療扶助適用外費用の助成

環境

閉鎖したクリーンセンター・最終処分場周辺環境整備は



治 良郷内

Q 名取クリーンセンターと最終処分場跡地の草刈りなど、維持管理について伺う。

A 名取クリーンセンターは平成30年7月31日に解体工事を完了し、本市へ返還された。跡地には外部から侵入されないように施設の上、草刈りなども含めて管理を行っている。また、最終処分場跡地は、年1回市と委託業者による草刈りを実施している。必要な箇所を適宜修繕するとともに、監視カメラを設置し管理を強化している。

Q 最終処分場浸出液処理施設の解体予定について伺う。

A 浸出汚水処理施設は、運転停止から15年経過しており、今年度解体工事を実施する。機材の搬入に際し、農地への影響を避けるため、耕作が終了する秋以降に工事を開始し、令和3年3月までに終了したい。

Q 近隣住民の安心安全、周辺環境のためにも最終処分

場浸出液の検査を今後も実施すべきと考えるがどうか。

A 昭和54年の稼働開始以来、毎年実施してきた。運転停止後も続けたが、愛島地区環境対策委員会と協議し、平成27年度で水質検査を終了する旨を決定した。令和元年度に浸出液の水質検査を行ったが、結果は基準値内であり、水質は安定しているものと捉えている。しかし、地元住民の皆様が安心していただくため、当分の間は水質検査を行ってみたいと考えている。

質問した内容
1 閉鎖した名取クリーンセンター及び最終処分場の周辺環境整備



策

空港の運用時間延長の見直しは



佐々木 哲男

Q 県の地域住民への継続的な対応が、感染症予防対策に追われトーンダウンしている。運用時間延長を主動する県や空港会社、そして本市の今後の対応等の見通しは。

A 県主催の地区説明会の4回目については下増田地区に入れず現在に至っているが、今後、再開されていくものと捉えている。

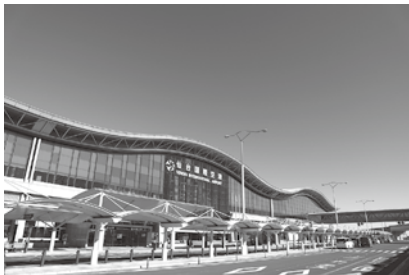
Q 県の示す航空機騒音対策の影に、地域振興策が見え隠れしている。地域振興策と地域住民との合意形成は表裏一体であり、騒音対策を重視しつつも、地域振興策にも耳を傾けていくべき。

A 県より騒音対策に加え地域振興策についても地元と協議を始めたのと提案されたが、騒音対策に地域差があるのが現状で、まずは住民不安を解消した上で次の段階に進むよう県に要請した。地域振興策は、その後に対応を検討したい。

Q 県及び空港会社と、地域住民、名取・岩沼両市との合意点を、いつ、どのように見いだし、決定が下されるのか、今後の一連の流れについて、住民や議会等に明確に説明すべき。

A 県が住民の意見・要望にどう対応していくか検討する中で、今後の事務の流れも整理されるべきと捉えている。現時点では、明確な内容整理や関係機関との調整が進んでいないため、もう少し時間がかかると考えている。

1 質問した内容
仙台空港の運用時間延長



環境

使用済み紙おむつのリサイクルに取り組むべき



菊地 忍

Q 現在、使用済み紙おむつのほとんどは焼却処理されており、一般廃棄物に占める割合は5割弱と推計されている。この割合は今後増加する可能性があることから、焼却処理ではなく、リサイクルに取り組む必要がある。

A 令和2年3月、環境省より「使用済み紙おむつの再利用等に関するガイドライン」が公表され自治体の取組を促している。本市もリサイクルに取り組むべき。

Q リサイクルの実施に際しては、使用済み紙おむつを収集する際の臭気や衛生面の問題が懸念されることから、回収場所の設置や収集運搬方法について考慮する必要はある。本市の廃棄物処理は巨理名取共立衛生処理組合が行う広域行政事務事業であることから、同組合及び構成する2市2町と先進事例等の情報を共有し調査研究していきたい。

Q 岩沼東部環境センターでは平成30年7月より直接搬入された除草や剪定枝などの草木について堆肥化を行っている。市民への周知を図るべき。

A これまでは草木や剪定枝はすべて焼却処分としており、自己搬入分に限定されるが堆肥化の実施により、焼却費用や埋立処分量の削減につながるものと捉えている。広報などやホームページにて周知啓発に努めたい。

質問した内容
1 ごみ減量に向けた取組
2 新型コロナウイルス感染症に係る緊急経済対策





佐藤 正博

Q 残存するあんどん松の現況と、強風で倒木した原因を伺う。

A 令和2年4月18日の強風により1本の松が倒木し、現在、38本の松が残されている。各種診断調査や、樹勢回復、外科処理、伐採、整枝剪定、ワイヤで樹木を支えるなどの保全対策や安全対策、薬剤散布や草刈りなど通年の維持管理や定期的診断を実施している。

Q 倒木した松の再利用等は検討したのか。

A 倒木した時点では、緊急的な伐採であったため再利用は検討していない。過去に伐採した松の輪切りを市主催の展示会で活用した例があった。今回は地元から再利用の相談もあったことから検討していく。

Q 後世に残すため保全対策を講ずるべき。

A 安全確保を第一に、歴史的価値を有し地域に親しまれている松並みを継承するため、健康状態や、必要な保全対策の内容を把握する精密診断を早い時期に実施していきたい。その上で、倒木の危険性が高いと判断された松や住宅地に近い松は、ワイヤ補強の実施や場合によっては伐採を含めた安全対策を講じながら、松並みの保全を図っていく。

質問した内容

- 1 市登録文化財閑上土手の松並「あんどん松」
- 2 閑上東地区被災市街地復興土地区画整理事業



菊地 昌夫

Q 市のホームページには、小・中学校及び義務教育学校の通学路における危険個所の安全確保を図るため、「名取市通学路交通安全プログラム」に基づき、関係機関が連携し、児童生徒が安全に通学できるよう通学路の安全確保を図っていくとある。本プログラムに基づく通学路安全対策一覧表と対策箇所図をはじめ、安全対策推進会議や合同点検の結果については、その内容を分かりやすく、そして、速やかに周知すべき。

A 分かりやすく、速やかな公表ができていない点については年度内にPDCAのサイクルが完結できるように、スケジュール管理を行い、分かりにくい内容についても改善を図りたい。

Q 各学校からの安全対策要望内容については、あらかじめ推進会議や合同点検の実施時期を明確に定め、迅速で計画的に安全対策を行

Q うよう、実施時期を対策一覧表に明記すべき。

A 中長期的な対応になる場合は応急的な対策を検討し、児童生徒の安全を確保していきたい。各学校からの要望箇所については、検討対応の状況を年度内に情報共有を図っていく。

質問した内容

- 1 通学路の安全確保





板橋 美保

Q 名取の歴史・文化・景観の集大成としての、なとり百選を選定してから10年余りがたつが、どのように捉えているか。

A 選定以降、冊子やウォーキングマップの配布や特設サイトにより周知を行ってきた。また、関連行事として、主要箇所を巡る日帰りツアー等も行った。東日本大震災や環境情勢の変化による消失や休廃止、場所が移転したりと、近年は百選としての活用があまりなされていない状況にあると捉えている。

Q なとり百選の一つである旧中沢家住宅のトイレを整備すべき。

A 現在、旧中沢家住宅のトイレは、仮設のトイレを設置して利用していただいている。洋式の簡易水洗トイレに更新するなど、少しでも利用しやすい環境を整えながら、利便性の向上や利用促進を図っていききたいと考えている。

Q なとり百選の選定を見直すべき。

A 名取市第六次長期総合計画にも掲げているとおり、「愛されるふるさと なとり」づくりの一環として、市内の魅力を再発見し、シックプライドの醸成を図ることを目的に、市民や多様な主体と協働し、後継となる地域資源の再発掘事業

質問した内容
1 なとり百選



6月定例会 議案審議

名取市の

こんなことが決まりました

6月定例会 会期 6月4日～15日

6月定例会の議案は 市長提出議案

報告	6件
条例	8件
補正予算	3件
同意	2件
議決案	1件
議員提出議案	
条例	1件
計	21件

※今期定例会では、賛否が分かれた議案はありませんでした。

提出された議案の概要は、市議会ホームページの「議案の概要と審議結果」をご覧ください。



Pick up 1

地域応援プレミアム商品券事業費など、
新型コロナウイルス感染拡大の
影響に対応する費用を措置しました

こんな質疑がありました

地域応援プレミアム商品券事業について

販売方法は。

AQ 商工会と連携して、8月に1セット5000円で6500円の買物ができる商品券を販売する。1世帯当たり2セットまで購入できる。混乱を避けるため、購入希望者は事前に商工会に申し込み、送付される引換はがきを持参して購入する。

使用できる店舗は。

使用できる店舗にステッカーを貼る、商品券の冊子に店舗名を印刷するなど誰でも分かるようにしたい。

牛野一本杉線交差点測量設計委託料について

大きな事故があり、全国的な報道で取り上げられた交差点だが、信号機の設置が決まった内容なのか。

A 宮城県警と交差点改良と信号機設置に関する事前協議を進めてきた。県警からは交差点改良を行うのであれば信号機を設置する。今後は、信号機設置位置等について協議を進めたいと回答があった。

AQ いつ頃までに協議が整い設置予定となるのか。

A 年内中に説明会や設計を行いたい。来年度以降に用地買収し、工事を進めたい。

Pick up 2

北釜地区防災集団移転促進事業跡地整備事業用地として土地の取得を行います

北釜地区防災集団移転促進事業跡地整備事業用地を、
5441平方メートルを6千5万100円で取得するものです。

こんな質疑がありました

用地取得の進捗状況は。

AQ 先行エリアとして4.9畝の用地買収を進めている。対象者は12名で、うち2名が未契約である。市道北釜中央線から南側については、今年度から用地買収を進めていきたい。

取得する土地の内訳は。

AQ 畑が1353平方メートル、雑種地は4088平方メートル。

AQ 産業誘致ゾーンとして整備する計画だが、現在手を上げている企業は何社いるか。

A 1社である。

北釜地区防災集団移転促進事業跡地整備事業位置図



凡例	単位:ha
事業区域	28.7
先行エリア	4.9
買収箇所	0.54

No.1

新型コロナウイルス感染症に関する
議会の取組について

名取市議会では、新型コロナウイルス感染症に係る緊急経済対策の財源に資するため、令和2年4月1日から令和3年3月31日までの間、各会派に交付する政務活動費の額を2分の1に減額します。また、令和2年度の行政視察を全て中止します。

6月定例会で関係する条例改正と、議会費のうち政務活動費交付金及び行政視察旅費を計511万2000円減額する一般会計補正予算を全会一致で可決しました。

そのほか、感染拡大防止のため、傍聴をご遠慮いただくなどの対策を行ってまいります。ご理解とご協力のほどよろしく願います。

No.2

第5回臨時会（6月25日）
議案第65号 令和2年度名取市一般会計補正予算
（第5号）について

国の第2次補正予算等を受け、新型コロナウイルス感染症対策として、緊急に予算化が必要な事業費の審議を行いました。

感染症対策として非接触型体温検知器や避難所用資機材などの購入費用を増額するほか、飲食事業者に対する新たな支援策としての

テイクアウト・デリバリー
応援補助金や、情報通信ネットワーク環境整備事業として、全ての児童生徒に1人1台のタブレット端末を配備する費用などについて追加で措置するもので、全会一致で可決されました。

No.3

6月定例会では、1件の請願と
2件の陳情が提出されました

請願

◎採択
建設経済常任委員会に付託された次の請願は、6月15日の本会議で採択されました。

◆植松三丁目及び四丁目地域の減災に関する請願
（植松南区長 太田 正氏 ほか1080名）

◆排水路並びに市道狭小部改良についての陳情
（本町町内会 会長 今野 正美氏）

陳情

◆農道増田39号線舗装改良整備に関する陳情
（下余田町内会 会長 齋藤 博氏 ほか3名）

No.4

人事案件に同意しました

今期定例会には、2か件の人事案件が提案されました。

◎固定資産評価審査委員会委員
（6月4日上程・同日原案同意）
星 弘氏（手倉田）
本郷 秀隆氏（愛島北目）

N WATCH

エヌ・ウオッチ

今号の表紙を飾ってくれた、**名取市サポートセンター**どっと。なとりの皆さんからお話を伺いました。



代表 菊地 麻理子さん

業務の内容を教えてください





東日本大震災で被災され、自宅再建された方等を対象として、地域コミュニティーの活性化を目的とした交流サロン活動などを行っています。

目指す目標や心がけていることはありますか

被災された方々だけではなく、名取に住む皆さんが生涯活躍できるまちになること。お互いに助け合いながらまちづくりが進むよう、誠実に、丁寧に、感謝を忘れずにいることです。

「うれしい」と感じるのはどんなときですか

心の奥が見えない状況でも、皆さんと接する様々な場面で、笑顔に出会えたときです。

<h2>令和2年9月定例会は、 9月3日(木) 開会予定です。</h2>	<h3>議会を読もう</h3> <p>名取市議会だよりは、2月、5月、8月、11月に発行しています。バックナンバーは、ホームページでもごらんいただけます。</p> 	<h3>議会を傍聴しよう</h3> <p>現在、新型コロナウイルスの感染拡大防止のご協力を頂いております。詳しくは、市議会ホームページでご確認いただくか、議会事務局へお問い合わせください。</p> 
<h3>会議録を読もう</h3> <p>本会議及び財務常任委員会の会議録をインターネットで公開しています。詳細な議論の内容の確認に、ぜひご利用ください。</p> 	<h3>議会を動画で見よう</h3> <p>本会議の様様をインターネットで中継（生中継・録画中継）しています。ぜひご利用ください。</p> <p>※スマートフォンやタブレット端末での視聴にも対応しています。</p> 	<h3>議会に参加しよう</h3> <p>議会に対して陳情等を提出することができます。</p> <p>陳情とは、特定の事項について議会などに実情を訴え、適切な措置を要望することです。</p>

編集後記

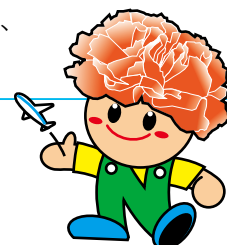
委員
板橋 美保

新型コロナウイルスの感染拡大防止策として、6月定例会では、一般質問の時間を1人20分とし、可能な限り会期日数を短縮するなど、効率的な議会運営に努めました。

学校や公民館、図書館などの公共施設が再開するなど、徐々に日常を取り戻していますが、まだ先の見えない不安感が

漂っています。市民の皆さんが安心して生活ができるよう、国の適切な政策実現に期待するとともに、市議会として本市の対策についても注視していきたいと思えます。

新型コロナウイルスの感染予防に努めつつ熱中症にも気をつけ、一緒に頑張りましょう。



名取市議会の情報はこちらから

名取市議会

検索

